

# 海外展開と経営管理

中小企業IT経営力大賞2009  
ITコーディネータ協会会長賞受賞

広島県呉市・リングギア製造業 ベンダ工業の場合

## 生産は海外中心でも品質は日本レベル 三代目社長が挑むグループ全体の経営力向上



会議室のモニターに電源が入ると、分割された画面のそれぞれに人の姿が映し出される。相手は今、中国と韓国にいる。

これは広島県呉市・ベンダ工業の、ある日の会議風景である。中国、韓国に設立した子会社の担当者と生産準備の状況や試作品の品質についてミーティング。ちなみに言葉は日本語とのことだ。ズームすれば製品の細部も映せ、同時に会話ができるテレビ会議システムは、もはや業務の必須ツールになっている。

### コスト要求に応えるべく いち早く海外生産へ

ベンダ工業は鋼材の曲げ加工事業からスタートし、自動車メーカーの依頼を契機にエンジンのリングギア用の加工へと分野を拡大。工法の技術特許取得後はこの分野へ



代表取締役社長 八代一成氏

のシフトを図り、現在は最終段階

の製品製造までを手がけている。年間製造量は自動車の台数に換算して1250万台に相当し、世界トップ水準の生産販売量を誇る。「自動車部品はコスト要求が厳しい世界です。この業界のビジネスをする以上、原価低減は永遠のテーマと考え、早い段階から海外

生産に取り組みました」

昨年、三代目経営者に就任した八代一成社長が説明するとおり、同社は韓国と中国に子会社、タイとインドに合弁会社を持つ。現在、同社の売上に占める国内・海外比率は5:5、しかし生産量は2:8だ。国内生産で足りない分は海外工場で作



### 会社概要

#### ベンダ工業株式会社

広島県呉市川尻町小仁方1丁目16-20

設立:1964年

従業員数:94名

事業内容: 金属リングの設計・製造・販売。主力商品は、スターターリングギア並びにその関連商品。日本本社に加え、韓国・中国の子会社、タイ・インドの合弁会社で事業展開。第3回ものづくり日本大賞で経済産業大臣賞を受賞。

URL: <http://www.benda.co.jp/>

### ITコーディネータの協力で 人海戦術の管理を脱出

生産技術に比べ社内での経営管理は遅れ気味。業務ごとに個別のシステムが使われており、工場間の連携連絡は電話やFAX、メールが主流だった。

しかし2004年にくれ産業振興センターのコーディネータ(当時)であったITコーディネータ神鳥勝昭氏に出会ってから、同



テレビ会議のセット。海外との会議は頻繁に行われている。インターネットの利用で通信費がかからないのも魅力

社のIT活用は一気に前進する。

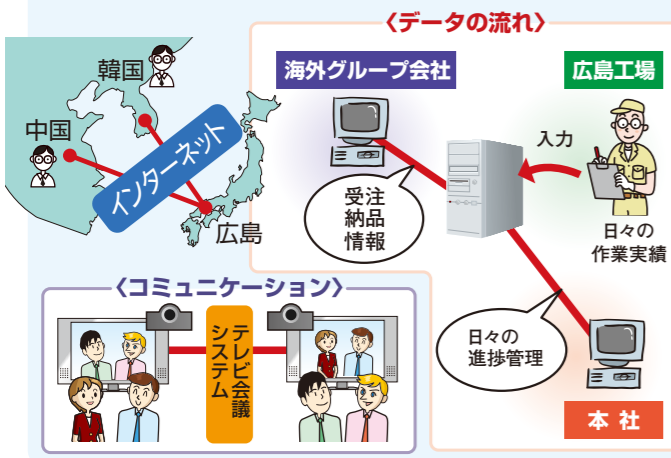
八代社長は、「初めに現状をお話ししたところ、「人海戦術でですね。グループで標準的な管理を行いトータルでIT経営に飛び込んでいく必要があります」と厳しいご意見をいただいたのを覚えています」と振り返る。

今後、グループの連結化も考えると、情報の一元管理と標準化は避けて通れない。早速、神鳥氏のアドバイスを受けながら、生産管理システムを中心に、受注、発注、納品、在庫を一貫して管理

できるシステムに着手した。

構築期間や費用を考え、システムはパッケージソフトをベースにカスタマイズする方法を選択。「社内にはしっかりした人間系の仕組みを持っていたの

### ベンダ工業が実践する海外工場とのネットワーク化



ベンダ工業のリングギアは材料廃棄率が低い工法で作られている

### サポーター紹介



ITコーディネータ  
神鳥 勝昭氏

でIT化はスムーズでした」と神鳥氏が指摘するように、IT導入前の業務分析は最小限で済んだという。

工程ごとの生産記録は日々データ化され、システムが定着するにつれて生産性や工程進捗に対する従業員の意識が高まった。グループ会社については、現在、インター

ネットを通じて発注と納品の実績がリアルタイムで把握できるようになっている。

システムを検討した当時に比べ売上は2倍以上に伸びているが、担当者を増やすことなく処理できているという。神鳥氏との出会いは絶好のタイミングだったようだ。最近では、八代社長は製品一品ごとの原価を算出し収益性の把握も行っている。年間600アイテムの販売動向を加味して、より具体的な事業計画を立てているそうだ。

IT導入時は専務としてCIOを担っていた八代社長。トップに立った今、システムに蓄積されるデータが経営の力強いパートナーになっている。